**新型コロナウイルスによる感染症に関して**

**八戸小中野幼稚園から保護者のみなさまへ**

2020年4月8日

八戸小中野幼稚園

　今年も4月になり、幼稚園の新学期が始まりました。子どもたちもご家族の皆様も、希望に胸をふくらませ、新しく始まる毎日にわくわくしながら迎える時です。けれども今年は、世界中で新型コロナウイルスによる感染症の拡大が止まりません。3月にはわたしたちが生活する八戸市内でも感染者が確認され、様々な行事が次々に中止になり、外出の自粛も求められています。しかも、この状況がいつまで続くのか、まだ底が見えず、これから先がどうなるのか、全く見通せません。

　小中学校が休校になる中も、幼稚園への休園要請はなく、八戸小中野幼稚園もこの状況の中、通常通りの保育を続けてきました。そして、状況が改善されないばかりかむしろ悪化に向かう中、こうして新学期を始めることになりました。みなさまに、八戸小中野幼稚園がどのような姿勢で保育を行い、状況の変化に応じてどのように対応しようと考えているのかをお伝えいたします。

**１．保育に向かう姿勢**

　この感染症を広げないために注意しなければならない三つの点については、みなさんもすでによくご存じでしょう。

　　①換気の悪い密閉空間

　　②手が届く距離に多くの人が密集

　　③近距離での会話や発声

　けれども、保育の場は、この三つを排除することが不可能な場です。このことを、保護者のみなさまにはよくご理解いただきたいのです。幼稚園で過ごす間、子どもたちにマスクをさせることも現実的ではありません。

それでも幼稚園が保育を継続しようとするのは、幼い子どもたちにとって、日々の日常生活、特に多くの人とのかかわりが成長に欠かせない事を知っているからです。人は、人とのかかわりの中でしか、人として成長することはできません。そして、幼児にとっての一日は、今しかない、成長にとってかけがえのない時間なのです。

**２．保育での配慮や工夫**

　しかし、子どもたちを感染症から守らなければ、この大切な日常も維持することはできなくなってしまいます。そのために、八戸小中野幼稚園では、次のような配慮や工夫をしていきます。

・保育室の換気に努める。（1時間ごとに5分間を目安に）

・戸外での遊びや散歩の時間を多く取る。

・手洗い、うがい、消毒をこまめに行う。

・給食時は、向かい合わせにならないように席を工夫する。

・咳、くしゃみが出る子どもには、マスクをつけてもらう。

　なお、園では一昨年度より次亜塩素酸水による加湿器を用いており、風邪の発症が抑えられているなどの効果を感じています。また、次亜塩素酸水による消毒も行っています。（テーブル、ドアノブ、ブロックなどのおもちゃ）

**３．感染を予防するために**

　少しでも感染を予防するため、みなさまには以下のご協力をお願い致します。

・毎朝自宅で体温を測って登園する。（こひつじノートの、その日のシールを貼る欄に体温を記入する）

・37度5分以上の発熱がある場合や、風邪の症状がある場合は、お休みする。

・家族に風邪の症状が出た場合は園に連絡する。

また、登園後に風邪の症状が出た場合、連絡しますのでお迎えに来てください。来られるまでの間、別室で安静にして待ちます。

**４．休園する場合**

　園では、保育を継続するために、できるだけの努力を惜しみませんが、それでも完全に感染を防ぐことは困難であると考えています。万一、園児や職員に感染者が出た場合には、市からの要請により、ただちに休園となります。その場合は最低でも二週間の休園です。